

## 5. 対象箇所の調査結果

### 5. 3. C班調査結果

#### ① 市ノ瀬地区

尾根付近から大きく滑動した地すべりであり、地すべりにより河道閉塞（土砂ダム）が形成された地区である（河道閉塞（土砂ダム）に対しての仮排水対策は実施済み）。

地すべり地内では、すべりが細分化している状況が認められ、尾根近くは下部に比べ、浅いすべりであることが確認された。

直線状の西側側方崖においては流れ盤構造が確認されることから、流れ盤構造に規制された地すべりと考えられる。

地震後の豪雨等により、更に地すべり土塊の活動・流失が進んだことにより、基盤岩（第三紀中新世のシルト・泥岩）及びすべり面が露出している状況が認められた。基盤岩の露出箇所では、すべり土塊と基盤岩のはっきりとした風化、透水性の相違が認められ、基盤岩には、削痕（概ね南北方向）が確認された。



写真 5.3.1 市ノ瀬地区全景  
（第2次調査時（7月）撮影）



写真 5.3.2 地すべり地内の滑落崖  
滑落崖背後には、尾根付近から滑落崖上部に抜けるすべりが生じている。



写真 5.3.3 地すべり頭部付近の状況  
土塊流失により、すべり面が露出している。すべり層厚は下部に比べ浅い。



写真 5.3.6 直線状の西側側方崖全景  
流れ盤構造が確認される。



写真 5.3.4 基盤岩及びすべり面の露出

地すべり土塊と基盤岩の明瞭な風化、透水性の相違が認められる。



写真 5.3.5 基盤岩の削痕(概ね南北方向)

## ② 大野地区

宅地が存在する段丘面を頭部として発生した地すべりであり、不安定化した斜面の崩壊や既設アンカー工の過緊張・緩みが確認されている地区である。

斜面内において、マッシュな第三紀中新世の凝灰岩・砂岩や段丘堆積物の露頭が認められた。

2024年9月の豪雨に伴い斜面崩壊が拡大しており、監視継続の必要性が高い地区と考えられる。



写真 5.3.7 既設アンカー工箇所全景



写真 5.3.8 斜面内の凝灰岩、段丘堆積物の露頭



写真 5.3.9 斜面内の凝灰岩の露頭



写真 5.3.10 地すべり頭部の状況  
伸縮計による監視が行われている。

### ③ 稲舟地区

地すべり防止区域「稲舟地区」内において地震に伴い発生した地すべりであり、多数の亀裂や斜面崩壊が生じている地区である。本地区は、比高約 50m の海岸段丘地形に位置している。

防止区域の西側においては、斜面崩壊により強風化の珪質泥岩と風化が進んでいない珪質泥岩との境界面に沿ってすべり面が露出している状況が確認された。この境界面は、斜面下方に向かって傾斜している。市ノ瀬地区と同様に、すべり土塊と基盤岩とは風化の程度や透水性の相違が明瞭で、すべり面付近では湧水が確認された。

また、この上部にある段丘面においては、ブロック内及びブロック外周沿いに亀裂等の変状が多数認められた。



写真 5.3.11 すべり面の露出



写真 5.3.12 すべり面の露出箇所の近景  
湧水が認められる。



写真 5.3.13 段丘面にみられる地すべり  
による変状



写真 5.3.14 段丘面にみられる地すべり  
による変状  
ただしこの斜面は造成地の盛土である。

#### ④ 鹿磯地区

地すべり防止区域「鹿磯地区」内において地震に伴い発生した地すべりであり、多数の亀裂や既設アンカー工の過緊張、引き抜けが確認されている地区である。

地すべり頭部においては、応急対策としての頭部排土工が実施されている。

地すべりによる変状は特に末端部が顕著であり、擁壁周辺の亀裂や傾倒が確認された。

また、引き抜けたアンカー工の背面では、地山の押し出しを示唆する現象が確認された。



写真 5.3.15 鹿磯地区全景



写真 5.3.16 応急頭部排土工の状況

排土面では伸縮計による監視が行われている。



写真 5.3.17 地すべりによる変状

地すべり末端部では擁壁周辺の亀裂や傾倒が認められる。



写真 5.3.18 既設アンカー工の引き抜け箇所

引き抜けたアンカー工背面地山の押し出しが認められる。

## ⑤ 地原地区

地すべり防止区域「地原地区」内において地震に伴い発生した地すべりであり、多数の亀裂やアンカー工が施工されていない区間の崩壊が発生している地区である。

崩壊地内は、攪乱した土砂が残存しており、崩壊頭部においては、直線状の滑落崖が確認された。

また、崩壊、既設アンカー工施工化斜面の背後の尾根部において断続的に亀裂が発生している状況が確認された。



写真 5.3.19 地原地区全景



写真 5.3.20 崩壊の状況



写真 5.3.21 崩壊の滑落崖の状況

直線状であり、断層等に規制されている可能性がある。



写真 5.3.22 尾根付近の亀裂